

2022年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

井関農機株式会社

2022年5月13日

1. 2022年12月期第1四半期 業績の概要

2. 2022年12月期 業績予想



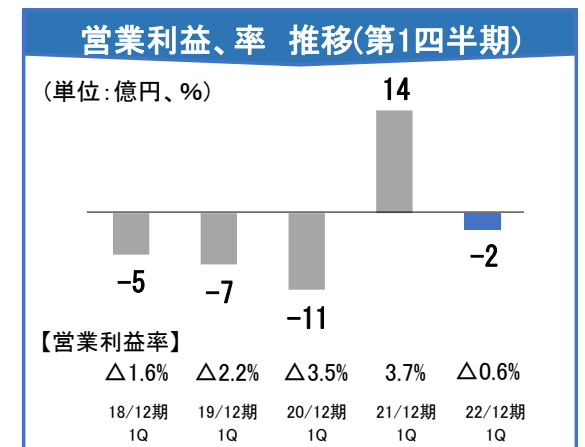
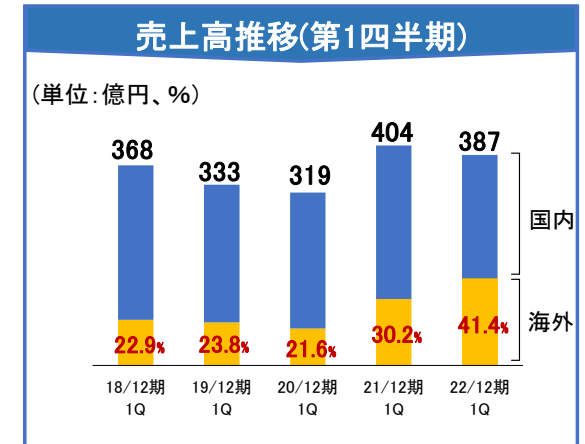
食と**農**と**大地**の
ソリューションカンパニー

1. 2022年12月期第1四半期 業績の概要

<第1四半期業績>

海外好調、国内は補助金反動・米価下落影響で減

- 国内 : 前年同期にあった経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動
米価下落による購買意欲減退
- 海外 : 全地域で増収
北米・欧州でライフスタイルの変化に伴い好調
- 収益 : 減収による売上総利益の減少
原材料価格高騰による収益圧迫
第1四半期は不需要期のため例年赤字の中、経常利益以下黒字維持



<通期業績予想>

当初予想から変更なし

市場環境及び当社事業環境 (22/12期第1四半期)



【凡例】 ✓ =市場環境 ➤ =当社事業環境

市場環境と当社事業環境

✓ 新型コロナウイルス感染症の拡大継続

<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サプライチェーンの混乱(コンテナ不足、生産用部品調達遅れ) ➤ 原材料価格高騰
<国内>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 展示会中止など営業活動に影響 ➤ 前年同期にあった経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動
<海外>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 北米、欧州におけるライフスタイルの変化に伴う需要増

✓ 国内米価下落(令和2年産米3月:14,740円/60kg⇒令和3年産米3月:12,777円/60kg) ※1

<国内>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 農家の購買意欲減退
------	---

✓ ロシアのウクライナへの侵攻

<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 販売面:この地域での営業活動を行っていないため直接的な影響はない ➤ 仕入面:サプライチェーンの混乱、原材料価格の更なる高騰懸念
------	---

✓ 円安の進行

<全体>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 営業利益での影響は軽微
------	---

※1:相対取引価格(全銘柄平均) 出所:農林水産省 米に関するマンスリーレポート

連結業績の概要

(2022年1月1日～2022年3月31日)

(単位: 億円、%)

	18/12期 1Q実績	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	前年 同期比
売上高	368	333	319	404	387	△ 17
(国内)	284	253	250	282	227	△ 55
(海外)	84	79	68	122	160	+ 38
営業利益	△5	△7	△11	14	△2	△ 17
営業利益率	△1.6%	△2.2%	△3.5%	3.7%	△0.6%	△ 4.3%
経常利益	△9	△11	△12	21	0	△ 20
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△3	△4	△4	19	2	△ 16
為替平均 レート (円)						
米ドル	110.1	110.5	109.6	104.4	114.8	+10.4
ユーロ	134.3	126.3	120.8	126.8	130.1	+3.3

国内売上高

前年同期比
▲55億円

経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動や米価下落による購買意欲減退
メンテナンス収入は維持

(単位:億円)		18/12期 1Q実績	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	前年 同期比
農機 製品 農機 関連	整地機	72	67	57	66	58	△ 7
	栽培機	21	22	17	25	16	△ 8
	収穫調製機	28	27	20	24	20	△ 3
	小計	122	117	95	116	96	△ 19
	作業機	48	48	41	59	40	△ 19
	部品	26	27	29	30	29	△ 0
	修理収入	9	10	11	11	11	△ 0
	小計	85	86	82	102	81	△ 20
	計	207	204	178	218	177	△ 40
	施設工事	27	5	26	14	7	△ 7
その他農業関連	48	44	46	50	42	△ 7	
合計	284	253	250	282	227	△ 55	

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 農機製品・作業機は経営継続補助金などに伴う需要喚起の反動に加え、米価下落による購買意欲減退により減収
- ✓ 製品、作業機の減収はあるも、部品、修理収入などのメンテナンス収入は前年同期を維持

海外売上高

前年同期比
+38億円

市場ニーズを捉えた販売推進により全地域において増収

(単位:億円)	18/12期 1Q実績	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	前年 同期比
北米	26	28	23	39	46	+ 6
欧州	28	29	24	59	78	+ 19
アジア	27	20	20	22	35	+ 12
その他	0	0	0	0	1	+ 0
連結売上高 合計	84	79	68	122	160	+ 38

主な増減要因(前年同期比)

- ✓ 北米：ライフスタイルの変化に伴う好調なコンパクトトラクタ市場を背景に、AGCO社による積極的な販売推進が奏功し増収
- ✓ 欧州：ライフスタイルの変化に伴うコンシューマー向けを中心とした好調な販売に加え、景観整備向け需要の回復に伴うプロ向け販売も増加し増収
- ✓ アジア：韓国排出ガス5次規制に伴う上期期限での出荷集中による増収

営業利益

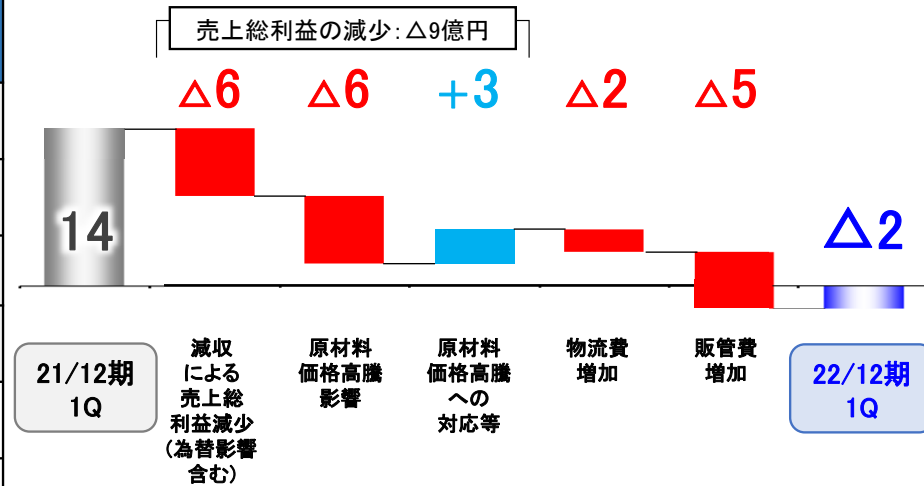
前年同期比

▲17億円

減収に加え原材料価格高騰影響により売上総利益が減少
物流費率の悪化などにより販管費増加

(単位: 億円、%)

【営業利益増減内訳(前年同期比)】



【為替影響(億円)】

売上	原価	販管費	営業利益
+5	△6	△0	△1

	18/12期 1Q実績	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	前年 同期比
売上高	368	333	319	404	387	△ 17
売上総利益	99	96	90	117	108	△ 9
売上総利益率	27.0%	28.9%	28.2%	29.1%	27.9%	△ 1.2%
販管費	105	103	101	103	110	+ 7
人件費	62	61	60	60	64	+ 3
その他経費	43	42	40	42	46	+ 3
営業利益	△5	△7	△11	14	△2	△ 17
営業利益率	△1.6%	△2.2%	△3.5%	3.7%	△0.6%	△ 4.3%

経常利益、四半期純利益

経常利益
前年同期比
▲20億円

前年同期にあった一過性の営業外収益の剥落はあるも
経常利益では黒字を維持

(単位: 億円)	18/12期 1Q実績	19/12期 1Q実績	20/12期 1Q実績	21/12期 1Q実績	22/12期 1Q実績	前年 同期比
営業利益	△5	△7	△11	14	△2	△ 17
金融収支	△1	△1	△1	△1	△1	+ 0
その他営業外損益	△1	△1	0	8	4	△ 3
経常利益	△9	△11	△12	21	0	△ 20
特別利益	0	0	1	0	0	△ 0
特別損失	0	0	0	0	0	+ 0
税 前 利 益	△9	△11	△11	20	0	△ 20
税、税調整額	5	7	7	△1	2	+ 4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△3	△4	△4	19	2	△ 16

営業外損益増減内訳(前年同期比)

受取和解金の剥落等	△4億円
-----------	------

バランスシート

前年同期末比

- ・棚卸資産は製品在庫の圧縮は進むも、サプライチェーン混乱影響で工場仕掛品は増加
- ・有利子負債の圧縮は進む

(単位:億円)	21/3月末	22/3月末	増減		21/3月末	22/3月末	増減
現金	90	104	+ 13	仕入債務	401	414	+ 13
売上債権	289	301	+ 11	有利子負債	712	679	△ 33
棚卸資産	534	546	+ 12	(借入金)	(632)	(608)	(△24)
(商品及び製品)	(458)	(451)	(△7)	その他負債	176	200	+ 24
(仕掛品)	(64)	(82)	(+18)				
その他流動資産	45	35	△ 10				
(短期貸付金)	(16)	(0)	(△16)				
流動資産計	961	987	+ 26	負債計	1,290	1,294	+ 4
有形固定資産	858	846	△ 11	純資産	648	662	+ 13
無形固定資産	20	23	+ 2	(利益剰余金)	(164)	(173)	(+8)
投資その他資産	98	98	△ 0				
固定資産計	978	968	△ 9				
資産合計	1,939	1,956	+ 17	負債・純資産計	1,939	1,956	+ 17

2. 2022年12月期 業績予想

- ✓ 国内外ともに新型コロナウイルス感染症は依然残るものの、オミクロン型変異株は上期中には収束に向かい、社会活動や経済活動も緩やかに回復基調(当初前提通り)
- ✓ 原材料価格高騰やサプライチェーン混乱の継続、ロシアのウクライナ侵攻や為替円安進行



**先行きの不透明さは残るものの、
業績予想修正なし**

2022年12月期 連結業績予想



連結
業績予想

当初予想から修正なし
前期比増収、営業増益、期末配当30円

(単位:億円、%)		18/12期 実績	19/12期 実績	20/12期 実績	21/12期 実績	※22/12期 予想	前期比
売上高		1,559	1,498	1,493	1,581	1,665	+ 83
	(国内)	1,228	1,177	1,159	1,173	1,190	+ 16
	(海外)	331	321	333	407	475	+ 67
営業利益		31	27	20	41	47	+ 5
営業利益率		2.0%	1.8%	1.4%	2.6%	2.8%	+ 0.2%
経常利益		26	11	17	46	46	△ 0
親会社株主に帰属する 当期純利益		10	7	△56	31	31	△ 0
為替平均レート (円)	米ドル	110.2	109.3	107.0	109.0	110.0	+ 1.0
	ユーロ	130.9	121.6	121.5	129.8	130.0	+ 0.2
期末配当(円)		30	30	0	30	30	± 0

※22/12期予想: 2022年2月15日公表予想

将来の見通しに関する記述についての注意

- ・本資料は、情報提供を目的として作成しており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、潜在的风险や不確実性が含まれており、経済情勢や市場動向の変化等により実際の結果と必ずしも一致するものではありません。
- ・ご利用に際しては、ご自身の判断でお願い致します。

本資料に掲載している業績予想や目標数値に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。



未来の
ために、
いま選ぼう。

井関グループは、
環境省による地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を
促す国民運動である【COOL CHOICE】の取組みに賛同しています。
「賢い選択」の提案として「エコ商品」など
環境に配慮した商品の開発普及を推進しています。

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**